

STERIS スポアクレンズ レディトゥユース 常温除菌剤 安全データシート

作成日 2023/08/07

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	スポアクレンズ レディトゥユース 常温除菌剤
製品コード	BC-652873EC
供給者の会社名称	ニッタ株式会社
住所	大阪市浪速区桜川4-4-26
担当部門	クリーンエンジニアリング事業部ライフサイエンス推進チーム
電話番号	06-6563-1233
FAX番号	06-6563-1234
推奨用途	工業用途に限る 非多孔質表面の除菌

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

健康有害性	皮膚腐食性／刺激性 区分1 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分1 特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分2（血液 呼吸器系）
環境有害性	水生環境有害性 短期（急性） 区分3 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険有害性情報

危険
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
血液、呼吸器系の障害のおそれ
水生生物に有害

注意書き 安全対策

粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気を吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
環境への放出を避けること。

応急措置

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚又は髪に付着した場合、直ちに汚染された衣類をすべて脱ぎ又は取り除くこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。
直ちに医師に連絡すること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

保管
廃棄

施錠して保管すること。
内容物、容器を国、都道府県又は市町村の規制に従って
廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別
化学名又は一般名

混合物
酢酸、過酸化水素、過酢酸

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS登録番号
			化審法	安衛法	
酢酸	4.9~5.5% (5.0%)	C ₂ H ₄ O ₂	(2)-688	既存	64-19-7
過酸化水素	0.9~1.1% (1.0%)	H ₂ O ₂	(1)-419	既存	7722-84-1
過酢酸	0.07~0.10% (0.08%)	C ₂ H ₄ O ₃	(2)-689	既存	79-21-0
脱イオン水	93~94% (94%)	H ₂ O	対象外	-	7732-18-5

GHS分類に寄与する不純物

情報なし

化審法
労働安全衛生法

優先評価化学物質（法第2条第5項）
名称等を通知すべき危険物及び有害
物（法第57条の2、施行令第18
条の2第1号、第2号別表第9）

過酢酸（政令番号：92）
過酸化水素（政令番号：126）（10%未満）
酢酸（政令番号：176）（10%未満）

4. 応急措置

吸入した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診察、手当てを受けること。

眼に入った場合

ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。

直ちに医師に連絡すること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタ
クトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。

口をすすぐこと。

飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。

無理に吐かせないこと。

ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、
霧状水。

周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。

使ってはならない消火剤
火災時の特有の危険有害性

粉末消火剤、二酸化炭素、水噴霧、砂、一般の泡消火剤。
棒状注水。

燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、
消火作業の際には、煙の吸入を避ける。

特有の消火方法

火災の場合には、適切な消火剤を使用すること。

消火作業は、風上から行う。

周辺火災の場合移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。

火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスクなど）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業には必ず保護具（手袋・眼鏡・マスクなど）を着用する。多量の場合、人を安全な場所に退避させる。

環境に対する注意事項
封じ込め及び浄化の方法及び機材

必要に応じた換気を確保する。
漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラムなどに回収する。

二次災害の防止策

少量の場合、吸着剤（土・砂など）で吸着させ取り除いた後、残りを大量の水で洗い流す。
必要があれば消石灰、ソーダ灰などで中和する。
付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。
滑って転倒する事故を引き起こす可能性があるため、製品の拡散を避ける。
漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は局所排気装置を設置する。

安全取扱注意事項

取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄の為の設備を設置する。環境への放出を避けること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
粉じん、煙、ガス、ミスト、スプレーを吸入しないこと。
『10. 安定性及び反応性』を参照。

保管

接触回避

衛生対策

安全な保管条件

安全な容器包装材料

取扱い後はよく手を洗うこと。

施錠して保管すること。

情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）	
		日本産衛学会	ACGIH
酢酸	未設定	10ppm(25mg/m ³)	設定あり 参照先： https://www.acgih.org/
過酸化水素	未設定	未設定	設定あり 参照先： https://www.acgih.org/
過酢酸	未設定	未設定	設定あり 参照先： https://www.acgih.org/
脱イオン水	未設定	未設定	未設定

設備対策

蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は局所排気装置を設置する。

保護具

呼吸用保護具

手の保護具

眼、顔面の保護具

取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄の為の設備を設置する。

必要に応じて、適切な呼吸器用保護具を着用すること。

必要に応じて、適切な保護手袋を着用すること。

保護眼鏡、保護面を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

必要に応じて、適切な保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態		液体
形状		液体
色		透明
臭い		データなし
融点/凝固点		データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲		データなし
可燃性		データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	下限	データなし
	上限	データなし
引火点		データなし
自然発火点		データなし
分解温度		データなし
pH		1.5 ~ 2
動粘性率		データなし
溶解度		水に完全に溶ける
n-オクタノール/水分係数 (log 値)		データなし
蒸気圧		データなし
密度及び/又は相対密度		約1.01 g/ml
相対ガス密度		データなし
粒子特性		データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	熱分解により腐食性の蒸気が生成される。
化学的安定性	通常の使用条件、推奨保管温度下では安定である。
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	涼しく乾燥した場所に保管すること。保管温度は24℃未満に保つこと。
混触危険物質	可燃物との混合を避けるための予防策を講じること。 強酸、強塩基、重金属、鉄、銅およびその合金、真鍮、アルミニウム、苛性製品、可燃性有機物、アルカリ、塩素、ホルムアルデヒド。
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、二酸化炭素。 熱分解により腐食性の蒸気が生成される。

11. 有害性情報

急性毒性	経口	区分3:過酢酸(毒性値=77.6mg/kg 出典:NITE) 区分4:過酸化水素(毒性値=805mg/kg 出典:NITE) 区分に該当しない:酢酸(毒性値=3310mg/kg 出典:NITE), 脱イオン水(出典:独自)
	経皮	区分2:過酢酸(毒性値=50.9mg/kg 出典:NITE) 区分3:過酸化水素(毒性値=690mg/kg 出典:NITE) 区分4:酢酸(毒性値=1060mg/kg 出典:NITE) 区分に該当しない:脱イオン水(出典:独自)
	吸入	(急性毒性(吸入:気体)) GHS定義による気体ではない。 (急性毒性(吸入:蒸気))

	<p>区分3:過酸化水素(毒性値=1438ppm 出典:NITE) 区分に該当しない:脱イオン水(出典:独自) 分類できない:過酢酸(出典:NITE), 酢酸(出典:NITE) (急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)) 区分2:過酢酸(毒性値=0.2mg/l 出典:NITE), 過酸化水素 (毒性値=0.46mg/l 出典:NITE) 区分に該当しない:脱イオン水(出典:独自) 分類できない:酢酸(出典:NITE)</p>
皮膚腐食性/刺激性	<p>区分1:過酸化水素(出典:NITE), 酢酸(出典:NITE) 区分1A:過酢酸(出典:NITE) 区分に該当しない:脱イオン水(出典:独自)</p>
眼に対する重篤な損傷性/ 眼刺激性	<p>区分1の成分合計が濃度限界(5%)以上のため、区分1に該当。 区分1:過酢酸(出典:NITE), 過酸化水素(出典:NITE), 酢酸(出典:NITE) 区分に該当しない:脱イオン水(出典:独自)</p>
呼吸器感作性	<p>眼区分1の成分合計が濃度限界(3%)以上の為、区分1に該当。 区分に該当しない:脱イオン水(出典:独自) 分類できない:過酢酸(出典:NITE), 過酸化水素(出典:NITE), 酢酸(出典:NITE) 分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を含有するため 分類できない。</p>
皮膚感作性	<p>区分に該当しない:過酢酸(出典:NITE), 脱イオン水(出典:独自) 分類できない:過酸化水素(出典:NITE), 酢酸(出典:NITE) 分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を含有するため 分類できない。</p>
生殖細胞変異原性	<p>区分に該当しない:過酢酸(出典:NITE), 脱イオン水(出典:独自) 分類できない:過酸化水素(出典:NITE), 酢酸(出典:NITE) 分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を含有するため 分類できない。</p>
発がん性	<p>区分2:過酸化水素(出典:NITE) 区分に該当しない:脱イオン水(出典:独自) 分類できない:過酢酸(出典:NITE), 酢酸(出典:NITE) 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないた め、区分に該当しないが毒性未知成分が濃度限界以上なので 分類できない。 ※分類に寄与しない成分: 過酸化水素(区分=区分2 出典:NITE)</p>
生殖毒性	<p>(生殖毒性) 区分に該当しない:脱イオン水(出典:独自) 分類できない:過酢酸(出典:NITE), 過酸化水素(出典:NITE), 酢酸(出典:NITE) 分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を含有するため 分類できない。 (生殖毒性・授乳影響) 分類できない:脱イオン水(出典:独自)</p>
特定標的臓器毒性(単回ば く露)	<p>区分1:過酢酸(臓器=呼吸器 出典:NITE), 過酸化水素(臓器= 呼吸器 出典:NITE), 酢酸(臓器=血液、呼吸器系 出典:NITE) 区分に該当しない:脱イオン水(出典:独自)</p>
特定標的臓器毒性(反復ば く露)	<p>酢酸≥1%のため、区分2(血液、呼吸器系)に該当。 区分1:過酢酸(臓器=呼吸器 出典:NITE), 過酸化水素(臓器= 呼吸器 出典:NITE) 区分に該当しない:脱イオン水(出典:独自) 分類できない:酢酸(出典:NITE) 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないた め、区分に該当しないが毒性未知成分が濃度限界以上なので 分類できない。</p>

誤えん有害性

データ不足のため分類できない。

1 2. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性短期（急

区分1:過酢酸(出典:NITE), 過酸化水素(出典:NITE)

区分3:酢酸(出典:NITE)

区分に該当しない:脱イオン水(出典:独自)

(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3が濃度限界(25%) 以上のため、区分3に該当。

水生環境有害性長期（慢

区分2:過酢酸(出典:NITE)

区分に該当しない:過酸化水素(出典:NITE), 酢酸(出典:NITE), 脱イオン水(出典:独自)

(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3が濃度限界(25%) 未満のため、区分に該当しない。

残留性・分解性

情報なし

生体蓄積性

情報なし

土壤中の移動性

情報なし

オゾン層への有害性

データ不足のため分類できない。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物

おがくず等に混ぜて焼却炉で少量ずつ焼却処理するか、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。内容物、容器を国、都道府県又は市町村の規制に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

Regulatory Information by Sea

Not dangerous goods

Marine Pollutant

Not applicable

Transport in bulk according to MARPOL

Not applicable

73/78,Annex II ,and the IBC code

Regulatory Information by Air

Not dangerous goods

国内規制

陸上規制

非該当

海上規制情報

非危険物

海洋汚染物質

非該当

MARPOL73/78附属書Ⅱ及びIBCコードによるばら積み

非該当

輸送される液体物質

航空規制情報

非危険物

特別の安全対策

輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

重量物を上積みしない。

緊急時応急措置指針番号

なし

1 5. 適用法令

化学品にSDSの提供が求められる3法令の該当

労働安全衛生法（通知対象物質）
毒物及び劇物取締法（毒物・劇物）
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律
適用される主たる国内法令
化審法
労働安全衛生法

該当
非該当
非該当

水質汚濁防止法
労働基準法

優先評価化学物質（法第2条第5項）（過酢酸）
名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9）（酢酸）
名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2施行令第18条の2第1号第2号別表第9）（酢酸、過酸化水素）
指定物質（法第2条第4項施行令第3条の3）（過酸化水素）
疾病化学物質（法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1）（過酸化水素）

16. その他の情報

連絡先
参考文献

サンタサーロ&ステリ-プロソリューション株式会社
NITE GHS分類公表データ
EU CLP Regulation, AnnexVI

免責事項

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。
注意事項は、通常取り扱いを対象としたものであります。
特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。